

☆笑進笑明☆

名古屋市立滝ノ水中学校
3年生学年通信 最終号
令和8年2月27日

☆ 啓蟄 (けいちつ)

公立一般入試も終わり、残りの登校日数があと5日となりました。現在の太陽暦で、ちょうど卒業式の頃を啓蟄(けいちつ)といいます。冬眠して巣ごもりしていた虫などが戸(穴)を開き、土の上にはい出して動き出す日をさすそうです。卒業はゴールではありません。いわば、お子様の啓蟄の日です。お子様には、新たな進路先で自信をもって活動してほしいと思います。残りわずかな中学校生活ですが、一つでも多くのことを学び、そして、仲間と多くの思い出を残して卒業していただくことを願います。

**人の力は、目標を叶えようとする意志の強さから生まれる。
どんな状況(場面)でも、得るものは必ずある。
そして努力の数だけ道は見つけられる。**

☆ 学年レクリエーション 2月12日・13日

1日目は、『滝ノ水中学校 100問テスト』が行われました。3年間過ごした滝ノ水中学校にまつわる問題が様々なジャンルから出題されました。生徒は、覚えているようで思い出せない絶妙な問題に頭を悩ませ、真剣に楽しんでいました。結果は、一緒に挑戦した教職員よりも高い**81点**を獲得した生徒が見事に**1位に輝きました**。100問テストにちなんで100位の人も表彰されていました。

2日目、『借り人リレー』では、様々なお題に該当しそうな人を探し出して一緒に走りました。『私は誰でしょうクイズ』では、曲の途中で流れる言葉をどの先生が言ったのかを当てるものでした。声の特徴が面白く、とても盛り上がりました。このクイズは全クラス全問正解でした。総合結果は、**1位が5組、2位が3組、3位が6組**となりました。

【滝ノ水 100問テスト】

※配布版は写真やイラストを掲載しています。

【借り人リレー】

【私は誰でしょうクイズ】

【表彰】

※配布版は写真やイラストを掲載しています。

☆ 学年合唱練習 2月13日

3年生を送る会と卒業式で歌う『群青』と『ハレルヤ』の練習を行い、迫力のある歌声を響かせました。いよいよ3年間の集大成です。生徒が本番でどのような歌声を披露してくれるのか楽しみです。

※配布版は写真やイラストを掲載しています。

☆ 進路レクチャー説明会

3月11日(水)の進路レクチャーに向け、39名のプレゼンターが集まりました。前向きに真剣に話を聞く生徒の姿を見て、後輩にどのような話をしてくれるのかとても楽しみになりました。この後、リハーサルを経て、本番を迎えます。

※配布版は写真やイラストを掲載しています。

★ 3月の予定

※予定は変更になる場合があります。ご了承ください。

日	曜	時間	1限	2限	3限	4限	5限	6限	行事予定	ランチ	部活動
1	日										
2	月	B	学活	3年生を送る会	学活		卒業式会場準備		①④学級活動	LR1-3・12組	×
3	火	B	卒業式練習	学活	学活	大掃除			③④アルバム配付&メッセージ書き	LR4-6	○
4	水	B	卒業式練習		学活				④学級活動 進路レクチャーリハール	LR4-6	○
5	木	B	卒業式リハール	学活	学活				③学年集会④学級活動	×	×
6	金	特	卒業式	学活					第41回卒業式③学級活動	×	再 15:00

○3月10日(火)公立一般合格発表 10:00

○3月11日(水) 6限(14:00開始)進路レクチャー

- ・応募者は、3年土間から入り、**13:10に図書室に集合**してください。
- ・持ち物…**制服(ブレザー着用・名札なし)、上履き、筆記用具、プレゼンに必要なもの**
- ・当日、やむを得ず欠席する場合は、中学校に連絡をお願いします。

☆ 生徒の作文『三年間を振り返って』より ～一部抜粋～

僕がはじめて滝ノ水中学校を訪れたのは、入学式前でした。みんなよりも少し早く、ぶかぶかの制服を着て、新入生代表あいさつを練習しました。アギス先生が、きっと晴れるとおっしゃっていた入学式でしたが当日、僕は土砂降りの雨にかき消されそうになりながら、「暖かい春の日差しに包まれて…」ということとなりました。雨の中でも僕の心の中は、晴れやかな気持ちと期待でいっぱい、新入生みんながそのような気持ちを抱いていたはず。そこから中学校生活が始まり、それぞれ成長していきました。「成長」という話になりますと、成長は、昔取り組んだ、モチベーションの曲線と結びついているように僕は思います。モチベーションが下がった後に、少しの間を置いてから、切り替えて頑張るのが僕です。そのため、モチベーションのグラフと成長のグラフを重ねると、モチベーションのグラフが下がった後に、大きく成長していると思われま。僕の考えを書くと、モチベーションを上下させるグラフは上下しても、成長のグラフはずっと右肩上がりです。一度成長したら退化はしないと考えるためですが、中学校生活は、15年の人生の中で一番成長の変化の割合は大きかったと思います。合唱コンクールや定期テストなど、モチベーションを上下させ、成長を生む要素が日々にあふれていました。

1組

僕はこの三年間で何気ない会話が一番楽しかったです。授業の班活動、放課や放課後、登校や下校など1年生から3年生まで本当に意味のない会話が自分にとっての宝物になりました。どれもこれも友達がいてこそその宝物だと思います。それは稲武や修学旅行でも同じことが言えます。宿泊の班やバスや新幹線の座席も友達から、「一緒になる!」とか「隣にしようぜ」とか言ってくれました。これはあたり前じゃないんだなと卒業が近くなってから思います。高校に行ったらまた一からやり直します。やっと3年生になって自分のクラス以外で廊下で話したりできるようになったのに。もう会えないのがさびしいほど友達と一緒にいたことが幸せでした。宝物。僕のこの3年間を宝物にするには宝箱におさえきれないほど盛りだくさんで、濃い3年間だったと思います。この宝物の8割ほどは友達との何気ない会話で埋めつくされて宝石のように一生輝き続けるんだらうと今の自分ならはっきり言えます。

2組

入学した日は不安と期待にゆれていた私も気付けばもう卒業が近づいていて驚いています。楽しかったことも辛かったこともたくさんあって、人として成長できたと思います。特に記憶に残っているのは合唱コンクールと修学旅行です。合唱コンクールでは、私は三年間指揮者を務めることができましたが、一年の時の立候補理由は、「人見知り直すため」でした。いざ練習が始まるとみんなと一つの音楽を作る楽しさ、難しさにどんどのめり込み、気付けば「人見知りを直したい」よりも「音楽で人を感動させたい」という思いが膨らんでいました。そしてどんどん音楽のすごさや魅力にめり込み、絶対に三年間指揮を振りたい、と中学校生活で初めて大きな目標を作ることができました。目標達成をして、よりこの行事の偉大さを深く感じるようになりました。次に修学旅行。一学期の最初の方にある一大イベントで、クラスの人々の意外な一面や真の姿を見てとても楽しかった行事でした。特に分散学習では、分散ルートや見学場所などを自分たちで決めることができると分、電車の時間や駅の位置など一人一人が責任を持って行動することの大切さを知ることができたと思います。私の中学校三年間は実りの多いものであると同時に、悩みも多くありました。進路、友人関係、成績など三年生になってから特に増えた気がします。ですがそのたびに家族、友達、先生方がそっと支えて導いてくれました。高校生になれば易しい環境ばかりではなくなる。そんな生活の中でも、支えられる側から支える側へ歩いていけるような人になりたいです。

3組

あっという間に過ぎた中学校生活。いつもの場所で笑い合った友達。ガタガタする机。何気ない毎日が、私にとって大切な大切な宝物となっています。まずは、学校行事。体育大会や合唱コンクール、稲武野外学習、修学旅行…どれもみんなで一致団結して最高の思い出をつくり上げることができました。特に稲武でのキャンプファイヤーでは、みんなで歌って踊って楽しかったです。また、中学生最後の合唱コンでは、休みの人が多くなり練習も厳しかったけど、みんなの思いが一つになり、いい合唱をつくり上げることができて、すごく達成感がありました。

二つ目は、部活動。何事にも全力で取り組んできたのに、結果が出なかった日、メンバーに入れなかった日が、今でも忘れられません。でも、引退から少したった今、悔しくて泣いたり、チームが勝ってうれしかったり、全力で取り組んだからこそさまざまな感情を経験できました。最後は受験勉強。3年生になってぬるっと“受験生”が始まってしまい、最初は何をすればいいのかわからず戸惑いの日々でした。しかし、共に戦う黄学年の仲間や先生たちの支え、そして一番身近な家族からの応援が、つらい受験も乗り越える力になりました。私は中学校をたくさんの人に恵まれ、支えられながら、この3年間を過ごしてきました。そのおかげでたくさんの方に挑戦し、かけがえない思い出がたくさんできました。これから先、たくさんの方との出会いに感謝して、過ごしていきたいと思っています。『今まで支えてくれてありがとう』

4組

中学校三年間は、私にとって多くの新しい経験と成長があった時間でした。一年生の時は、初めての中学校生活に緊張していましたが、時間が経つにつれて慣れ、学校生活が楽しくなりました。部活では、合唱部に入って仲間と一緒に歌う楽しさを知り、友達と過ごす時間も増え、毎日が充実していて、いろいろなことを初めて経験することがとてもワクワクしました。二年生になると、部活や勉強が少しずつ本格的になり、思うようにいかないことが増えてきました。それでも、稲武野外学習では、クラスの仲がさらに深まり、みんなで協力して楽しんだことがとても印象に残っています。あの時の笑顔や、みんなで乗り越えた経験が少しずつ心の支えになっていきました。三年生は、とても忙しく、でも、一番楽しい一年でした。体育大会や合唱コン、レクなどのたくさん行事を通して、クラスの絆がとても深まりました。しかし、塾の勉強が忙しくなり、夜遅くまで勉強し、朝早く起きて学校、そのまま部活、宿題に塾の小テストの準備…毎日がその繰り返しで時間に追われる日々が続く、両立が本当に大変でした。でも、そんな中でも一緒に頑張っている友達がいたからこそ、乗り越えることができたと思います。振り返ると、一年生の時の楽しさや二年生でのつまづき、三年生の忙しさとその達成感が、それぞれ私にとって大切な経験になりました。これからも、この経験を大切に、どんな困難でも前向きに挑戦し続けたいです。

5組

私は、「この三年間で一番心に残っている思い出は何ですか。」と聞かれれば、「ない」と答えます。強がってクールなキャラでいたいからではありません。理由を付けるなら、「選べないから」です。私は、この三年間で物事に優劣や順位を付けることを好まない人になったと思います。きっかけは、クラスごとのチームに分かれて対決する行事である体育大会でした。今年の体育大会で全員リレーを2回走りました。候補は私を含め2人でした。どちらにしようかと話しあっていた時、もう一人の候補の友達が「任せたい」と言ってくれました、そこで、「ああ、頼ってもらえてるんだ」と嬉しくなり、私は走ることに決めました。もともと走る予定だった友達も「お願い」と応援してくれました。結果は残念だったけど、私の心に強く残る出来事になりました。合唱コンクールもそうです。私の去年のクラスは金賞をもらいました。もらった時は本当に嬉しく、それも大切な思い出として私の心に刻まれています。だけど、「もらえなかった今年のコンクールは違うのか」と聞かれれば、答えは「いいえ。」です。今年のクラスで歌った「証」は三年六組だけの宝物です。他の思い出も、思い返してみればきりがありません。でも全部私の思い出であり、宝物です。それら全てが今の私を形づくってくれています。

6組

私が三年間の中でもっとも大きいと感じていることは、将来の夢が決まったことです。私は中学校に入った頃は物を作る仕事に興味があり、人々に親しまれやすいお菓子を作るパティシエに興味がありました。ですが、中学校一年生に「Ka i」「そりっどびーつ」という二人のアーティストに出会い、音楽に作り出される世界観に興味をわきました。そして、中学二年生に、「新世界」という曲を見つけ、その歌詞を好きになりました。その後、「ハッピーエンド」という曲を見つけ聴いた時に、綺麗とはとても言えないような、言葉で表される人間らしい感情に心を動かされ、そのような曲を自分でも作ってみたいと思うようになりました。今後は、また色々な音楽を聴くことや同じく音楽が好きの人達と関わるなどして、興味を深めたいです。心から好きと言える音楽に出会えて本当に良かったです。

12組

～先生方からのメッセージ～

※配布版は先生方からのメッセージを掲載しています。

【保護者の皆様】

お子様のご卒業おめでとうございます。この3年間、保護者の方のご理解、ご協力のおかげで無事に卒業を迎えることができます。そして心身ともに成長していくお子様の姿を見続けてこられたことを何より嬉しく思っています。お子様が新たな進路先で、自分の良さを大いに発揮し、成長できることを願っています。3年間、本当にありがとうございました。